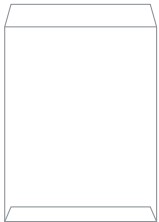


84期 活動報告書

株式会社 羽車 CSR Report 2019



代表あいさつ

日頃より大変お世話になっております。84期の活動報告書が完成しましたのでお届けいたします。この活動報告書は日頃お世話になっている皆様へ、より羽車を知っていただくために毎年一回発行させていただいております。

事業としましては、売上・利益とも昨年よりもプラスとなりました。新商品の羽車オリジナル紙素材、HAGURUMA Basic プレインホワイトとライナーグレイの出荷が順調に伸びています。また紙の端で指を傷つけにくいリップルカット封筒も販売先が広がっています。今期も森林認証紙の比率を高め、環境と人に優しい事業開発を行なっていきます。

地域に向けた活動では、堺市に新しくオープンした芸術文化ホール「フェニーチェ堺」のオフィシャルパートナーとなりました。舞台芸術や多彩な公演など地元の文化発信を応援していきたいと思っております。また昨年度も堺市が主催する「堺市NPO協働大賞」の選考委員を仰せつかり一年間務めました。他団体と協働して堺市の魅力を発信するNPOに応募いただき、入賞した団体は堺市でも支援をしていくという取り組みです。選考委員は今期も継続して務める予定です。

7月には社員向けヨーロッパ研修を行ないました。ヨーロッパの伝統的なデザインと、2015年より大きなテーマとなったSDGs経営をテーマに4か国をまわり多くの経験をしました。また8月にはベトナムのハノイを訪れ、経済成長著しいアジアのパワーを感じ、ものづくりの現場を見学しました。今期もアジアとヨーロッパにて研修を行う予定です。

品質への取り組みでは、品質管理の基本であるQC検定、印刷部門を中心に色彩検定の資格保持者がのべ37名になりました。品質と生産性を高めるための小集団活動「グループワーク」は、12グループが参加し工場内の整理整頓が進んでいます。優秀な活動のグループへは、全社員が集まる方針発表会内で表彰を行いました。新入社員をはじめ若い人たち主導での現場改善を目指し、仕事を通じて全社員が成長する機会を提供していきます。

羽車は創業101年を迎えました。ご愛顧いただいた取引先に感謝し、企業の社会的責任を果たし、世の中に必要とされる100年企業を目指す所存です。今後とも引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

この報告書は、私たちの事業活動とは切り離せない「環境・地域・取引先・社員」そして「社会」とのつながりや取り組みを紹介したものです。是非ご一読いただき、私たちの仕事へのご理解と忌憚のないご意見を賜りましたら幸いです。

代表取締役社長
杉浦 正樹

会社概要

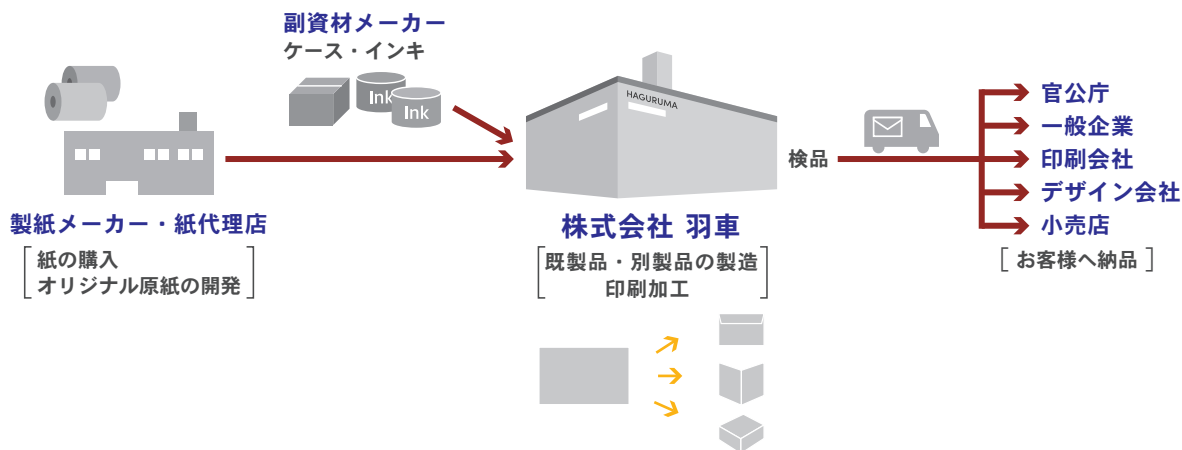
社名	株式会社 羽車
創業	1918年10月
設立	1936年1月
代表者	杉浦正樹
社員数	140名
資本金	5200万円 売上 20億円
事業内容	封筒・紙製品の企画・製造・販売 インターネットによる通信販売
事業所	本社 大阪府堺市東区八下町3-50 東京オフィス・HAGURUMA STORE 東京表参道 東京都渋谷区神宮前4-4-5 札幌出張所 札幌市中央区北4条西21-2-3-401
関連会社	株式会社ウイングド・ウィール 株式会社カルタビアンカ



事業活動

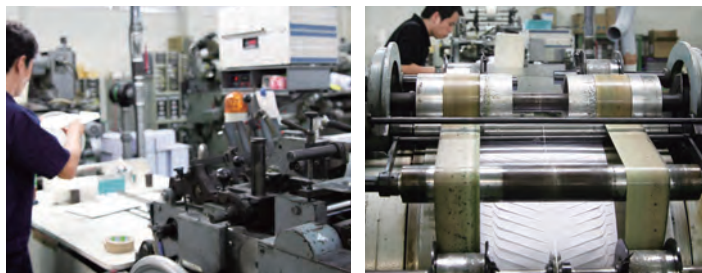
仕事の流れ

羽車では、1,000種類以上の封筒・カードの既製品、お客様のご要望に応じた別製品（オーダーメイド）の製造販売を行っています。



保有設備

断裁機	4台
抜き加工機	8台
輪転製袋機	7台
平判製袋機	6台
洋形製袋機	4台
印刷機	42台
セロ窓加工機・口糊加工機・製本機・製函機など	37台



営業拠点

東京（表参道）には、ショールームを開設しています。商品を手取り確認しながら、相談や注文ができるスペースとしてご活用いただいています。

大阪・東京・札幌の各営業拠点では外勤営業とは別にカスタマーセンターを設けており、お急ぎのお見積りやお問い合わせについても迅速に対応できる体制をとっています。全国への出張営業の他、インターネットでの通信販売も行っております。



経営理念

【私たちの起点となる考え】

「良いデザインを共につくる」

お客様にとって良いものを、一緒に考え、かたちにする。

【私たちが存在する意義】

お客様にとって
デザイン性の高い印刷物を
相談できるNo.1企業

社員に対し
やりがい・成長・安心感を
あたえられる会社

社会に対し
常に新しいカルチャーを
発信できる企業

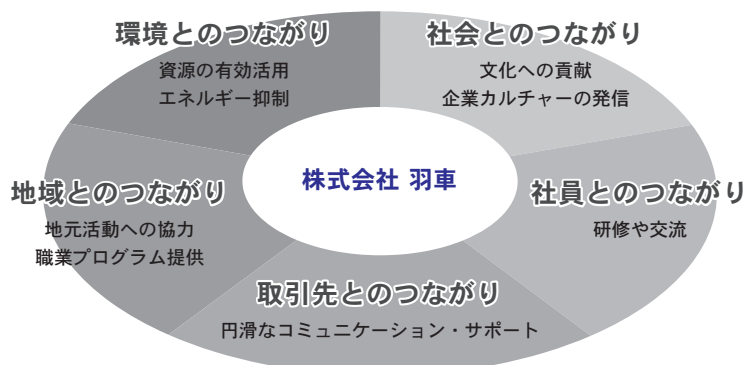
【私たちが目指す人物像】

- 誰からも声をかけられやすく、いつも心が笑顔の人
- 目標を達成するために最大限の努力をしている人
- 常に謙虚であり、言葉づかいや振る舞いに品がある人
- 人を喜ばせたり感動させたりすることが好きな人
- 新しいことに挑戦し、自分やチームを変えていける人
- 日々の仕事に楽しさや、やりがいを見いだせる人
- 周りの人の仕事を助け、チームワークの大切さを示せる人
- アートとユーモアを愛する人
- 自身の健康と環境問題に日頃から取り組んでいる人
- 自分の考えを持ち、率先して発言できる人

✉ CSRに対する考え

企業である以上利益の追求は当然ですが、それだけで事業が永続することはできません。事業の成功とともに社会に対しどのような貢献をしたかが問われています。私たちはCSR＝「企業の社会的責任」を次のように考えています。

まずはじめに大切なことは、事業活動における様々な業務や改革を法令順守と透明性をもって行うこと、そして社会的な責任として、環境・社会・地域・取引先・社員、それぞれとの関係性をより良く改善し貢献していくことです。会社の方針はこれらの社会性を持続的に保つためにあると考えます。



品質・環境方針

方針

当社は、「個性豊かなコミュニケーション」を演出する産業として、個性豊かな「色」と「かたち」で思いを届ける独自性の発想と視点から、常にお客様にご満足いただける製品づくりを目指して日々努力し、品質保証体制の継続的改善を実施します。また、地球環境を守るため紙製品製造販売における環境負荷を継続的に削減し、持続可能な循環型社会の実現に貢献することを全社員が自主的、積極的に取り組みます。その行動指針を以下のように定め、実行します。

1. 現在及び将来の事業活動において適用される法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 顧客要求事項、及び法的・規制要求事項を満たす製品を提供します。
3. 環境負荷を低減するため、下記の方針のもとに積極的に活動を推進します。
 - (1) 事業活動における省エネルギー、省資源活動等によるCO₂排出量及び廃棄物の削減・リサイクル・グリーン調達を推進します。
 - (2) 整理・整頓・清掃・清潔・躰(5S)により業務効率を高めます。
 - (3) 仕込み率の見直しで資源の有効利用に努めます。
 - (4) 梱包方法の見直しで梱包資材の節約に努めます。
 - (5) 化学物質の適正な管理に努めます。
4. 環境に貢献する製品普及の推進を行います。環境に配慮した諸資材(再生紙・非木材紙・再生窓用フィルム・植物油インキ等)を使用した製品開発を積極的に行います。
5. 品質・環境方針達成のため、品質・環境目標を各部門に展開し、その実施状況を見直し、有効性の継続的な改善を図る品質・環境マネジメントシステムを確立、維持し、定期的に見直しをします。
6. 品質・環境方針は全従業員に周知し、一般に公開します。

マネジメント体制

紙製品メーカーとしてISO9001を取得し、品質向上を常に目指し改善活動を行っています。環境に対してはエコアクション21の環境経営システムに従って環境への負荷低減に寄与しています。また、紙製品の販売においてFSC認証の流過程であるFSC® CoC認証を取得しました。各部門の上にISO・エコアクションの事務局をおき、品質・環境への取り組みを行うと同時に、定期的なマネジメントレビューを行っています。事務局ではそれぞれの品質・環境目標が適当であるかを定期的に判断し、内部監査等のスケジュール管理を行っています。

FSC® CoC 認証 (FSC-C143210)

FSC® (Forest Stewardship Council®:森林管理協議会)は適正に管理された森林から産出された材料を使い、製品となって消費者の手に渡るまでの工程が適切に管理されていることを認証する制度で、認証マークは「責任ある森林管理」ができていない企業の証です。

羽車では、原紙の仕入れから印刷、加工、納品に至るまでのすべての工程を管理するマネジメントシステムを構築して、「FSC® CoC認証」を取得いたしました。貴重な森林資源の保護、地球環境負荷の低減に積極的に取り組み、認証マークを付けた安全で安心な環境対応製品をお届けいたします。

※CoC認証とは Chain of Custody=『管理』をつなぐ、つまりFSC認証製品の木材が確実に使用されていることを実証することが目的です。



ISO9001

お客様に感動を与える製品及びサービスの提供を実現し、かつ安全・安心をお届けすることがますます重要になっています。羽車ではこれまで、ISO9001の考え方に基づいた品質保証システムを構築してきましたが、改めて『お客様視点に立ったものづくりの仕組み』を強化し、品質保証活動をより積極的に取り組むため徹底した品質管理を行っています。これからも品質・環境方針に掲げた『常にお客様にご満足いただける製品づくりを目指して日々努力し、品質保証体制の継続的改善を実施します』という目標を実行し、より一層の研鑽を積んでまいります。



エコアクション21

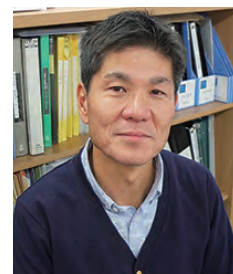
エコアクション21とは、環境省が策定したガイドラインに基づいた、事業者のための認証・登録制度です。羽車では2005年4月にエコアクション21を取得し、環境経営への具体的な取り組みとして、環境マネジメントシステムを構築し環境活動に取り組んでいます。品質・環境方針に掲げた『地球環境を守るため紙製品製造販売における環境負荷を継続的に削減し、持続可能な循環型社会の実現に貢献することを全社員が自主的、積極的に取り組みます』という目標を実行し環境活動を展開しています。



品質・環境事務局

FSC® CoC 認証取得後の構築

森林認証紙を使用した製品の商品化に向け、販売開始日を84期3月と決定し、スケジューリング、プロモーション、販売対象製品、管理手法の確立を行いました。9月には、認証機関による初めての維持審査を受け、CoC管理システムが審査規格の製品全ての要求事項に適合し効果的に実行していること、CoC管理システムを実施、維持する能力があるとの評価で認証維持を受けました。観察事項として3点の指摘がありましたが、85期中に改善いたします。



品質・環境管理責任者
久山 正晃(くやま まさあき)

エコアクション 21 (EA21)

4月に環境マネジメントシステム「エコアクション21」の中間審査を受け、ガイドライン2017年度版との照合審査をした結果、要求事項に沿った構築と運用の実施について評価をいただき「ガイドラインに適合」と総合評価を受けました。

総合コメントとして、ISO9001とEA21が一体となった実施体制や、化学物質管理におけるきめ細やかなリスクアセスメントの実施、換気による作業環境の改善、歩留まり向上に成果をあげていること、環境活動とCSRを合体し詳細にまとめられたレポートなど、積極的な取り組みができていると評価をいただきました。

ISO9001

7月に品質マネジメントシステム「ISO9001」のサーベイランス審査を受け、2015年度版との照合審査をした結果、効果的に運用され要求事項を満たしているとの判定で認証維持を受けました。総合コメントでは以下の不良品の再発防止対策を評価いただきました。

- ・ リピートオーダー時に前回の不良内容が工程に共有されるシステム
- ・ 不良見本を添付した内容報告書を毎月全工程で回覧しコミュニケーションをはかる

✉ 持続可能な取り組み

リサイクルケース

封筒を入れるケースは、当社で回収した余紙を一部利用したリサイクル素材からできています。



人にやさしい「リップルカット」の封筒

「リップルカット」とは、紙の端がゆるやかな波形のオリジナル加工で封入・封緘作業時の手指の安全性を高める設計です。ビジネス向けの封筒を中心に、一部の商品に採用しています。



環境に配慮したオリジナル紙素材

事務用封筒にも最適な「HAGURUMA Basic」ラインのプレインホワイト、ライナーグレイは、森林認証、グリーン購入法適合、無塩素漂白パルプを使用したリーズナブルで風合いもよい紙素材です。エコフレンドリーカラーとともに環境に配慮した商品を取り揃えています。



HAGURUMA STORE サイトリニューアル

「ハグルマオンラインストア」として長くご愛用いただいたECサイトを、2019年4月にリニューアル。画像では伝わりづらい質感をお伝えできるよう、画像を大きく表示したり、実際の制作例をご参考いただけるように、内容を充実しています。店舗名も「HAGURUMA STORE」に刷新し、よりわかりやすく利用しやすいサイトへと修正をしながらご提案しています。



労働安全衛生方針

✉ 概要 社内事故・苦情・品質 対策と取り組み

私たちは、全ての社員が安全と健康を通じて豊かな人生を享受できることが企業の社会的責任であるとともに、労働災害や事故が最も大きな環境破壊であることを認識し、労働安全衛生活動を推進しています。

社内事故報告

82期より無災害800日を維持しておりましたが、84期は労働災害が1件発生しました。技術員が旋盤作業中に手を負傷しました（軽傷で現在は完治）。本来は、軍手を外して旋盤を使用することになってはいますが、着用したまま作業したことが原因で手を巻き込まれてしまいました。さらなる安全対策を講じて、労働災害を起こさない、起こさせないように日々の安全確保を徹底いたします。

労働安全対策と取り組み

労働安全は最も重要なテーマのひとつです。人の手を使って機械を動かす以上、そこには必ず危険がともないます。その危険から起こる事故を防ぐことは、人を守ることはもちろん、安定したものづくりに欠かせないことです。84期は安心して働ける環境づくりの強化を行いました。製造部幹部が分担して年間27回の工場内の巡視を行い、59点の指摘に対し58点の改善（保留1点）を行いました。巡視した内容を電子化（改善前後の写真確認）することにより、情報の共有と進捗管理が容易になりました。

化学物質等のリスクアセスメント

印刷時に人体に影響を及ぼす有害物質の把握と軽減を目的に、コントロールバンディング(※1)によるリスクアセスメント(※2)を行いました。リスクの高いところは、改めてクリエイト・シンプル(※3)によるアセスメントにより、化学物質の測定、管理を行い、原材料をより有害性の低い物質に代替しております。

84期の教育訓練は、安全管理者、製造部幹部が、ラベル・SDS及びリスクアセスメントに関する講習と、機械設備安全に関する講習を受けました。講習内容を水平展開することにより快適な職場環境を形成し「健康経営」の礎を築いていきます。

当社の取り組みは、厚生労働省が行うラベル・SDS活用促進事業の【化学物質リスクアセスメント好事例集】内の「紙加工業のリスクアセスメント」として紹介されました。優れた点として、リスク低減措置内容の検討、実施、リスクアセスメント結果の労働者への周知を評価していただきました。

安全についての継続的な取り組みは、経営会議、Labo(商品開発会議)、製造会議、品質会議、労働安全衛生会議、毎日の朝礼、安全作業の確認、申し送りなどを行い、従業員が安心して働ける職場環境の構築を心掛けています。引き続き、安全最優先というメッセージを発信し、安全な職場づくりに努めていきます。

※1 コントロールバンディング:厚生労働省がサービスで実施している化学物質のリスクアセスメントの実施支援ツール

※2 リスクアセスメント:労働災害につながる原因を洗い出し、除去、低減するための手法

※3 クリエイト・シンプル:幅広い職場に向けた簡単な化学物質リスクアセスメントツール

苦情

前期に続き84期も苦情はありませんでした。引き続き工場内環境や周辺環境に対して法令順守を徹底いたします。

品質

品質向上については、社内間のコミュニケーションが重要です。弊社では経営会議、Labo(商品開発会議)、製造会議、品質会議、製造部幹部による始業前のショートミーティングを通して、目指す方向性の確認、目標へのずれを修正するなど、一体性をはかっています。

品質に対する取り組みでは、製造部はQC(品質管理)活動を継続し、【製造部グループワーク】を12グループで行いました。テーマは製造の基本である5S活動に絞り、目標に対しての「達成」「やり残し」「翌月への課題」「達成度」「今月のPRポイント」の5項目を毎月社内掲示板に貼り出しました。代表の杉浦より、総評、感想、アドバイスをフィードバックし、85期方針発表会で上位3グループの表彰と12グループのキャプテンに記念品が贈られました。

このグループワークにより、同じ目標や問題意識を持って業務に取り組めるようになり、一層チームワークが良くなりました。外部の審査員やお客様から、工場が整理整頓されていると評価もいただきました。継続と維持活動が今後の課題になります。

設備面では、輪転製袋機の窓フィルム剥がれを検出するセンサーの精度を上げるため、制御方法を見直しました。社内技術室にて大幅な改造を行い、安定して稼働できるようになりました。その他、予防措置として機械にセンサーを設置するなど7件の改善を実施しています。

教育面では引き続き、品質に対する意識の向上、組織の品質レベルの向上、製品・サービスの品質向上の目的で、製造部スタッフが品質管理検定(QC検定)と色彩検定を受験しました(QC検定は20名、色彩検定は17名が資格保持者)。また大阪印刷関連団体協議会主催「紙を断裁する1級技能検定」にて、弊社社員が大阪府知事賞を受賞しました。丁寧さとスピード、臨機応変なアイデアも必要とされる実技と筆記試験において、最優秀に選ばれました。

品質クレームについては、新サービスの導入に伴い集計方法を変更したため前期との比較はできませんが、85期は84期に対して10%削減を目標に取り組みます。



局所排気装置により熱と臭いを軽減(口糊加工機)



グループワーク優秀賞の表彰

環境方針実績・目標

環境に対する取り組み

当社では、地球環境を守るため紙製品販売における環境負荷を継続的に削減し、持続可能な循環型社会の実現に貢献することを全社員が自主的に、また積極的に取り組んでいます。

特に紙製品を扱うメーカーとして、原材料の調達には森林の保護に努めることが重要な責務であると認識しています。違法伐採の排除及び、適正に管理された森林からの木材利用など、協力会社との連携により製品の開発、販売を進めています。

また、CO₂排出量の削減に並ぶ重要なテーマとして資源の循環を掲げ『循環型ものづくり』を進めています。羽車の循環型ものづくりは『投資資源を最小化し、再生資源を最大化する』『生産活動から出る廃棄物の最終処理をゼロにする』という2つの取り組みを行っています。具体的には、製品を作る際に原紙が余って破棄されないよう、原紙の歩留まり率の管理を行い、投資資源の最小化に取り組んでいます。

それでも余ってしまった原紙は、色ごとに分別して有価物にかえたり、メモサイズにして商品を購入していただいたお客様に無償で提供しています。有価物にかわらない原紙は、ダンボールなどの原材料として再利用しています。

今後も余った原紙を新たな商品として再生させるプロジェクトを企画してまいります。

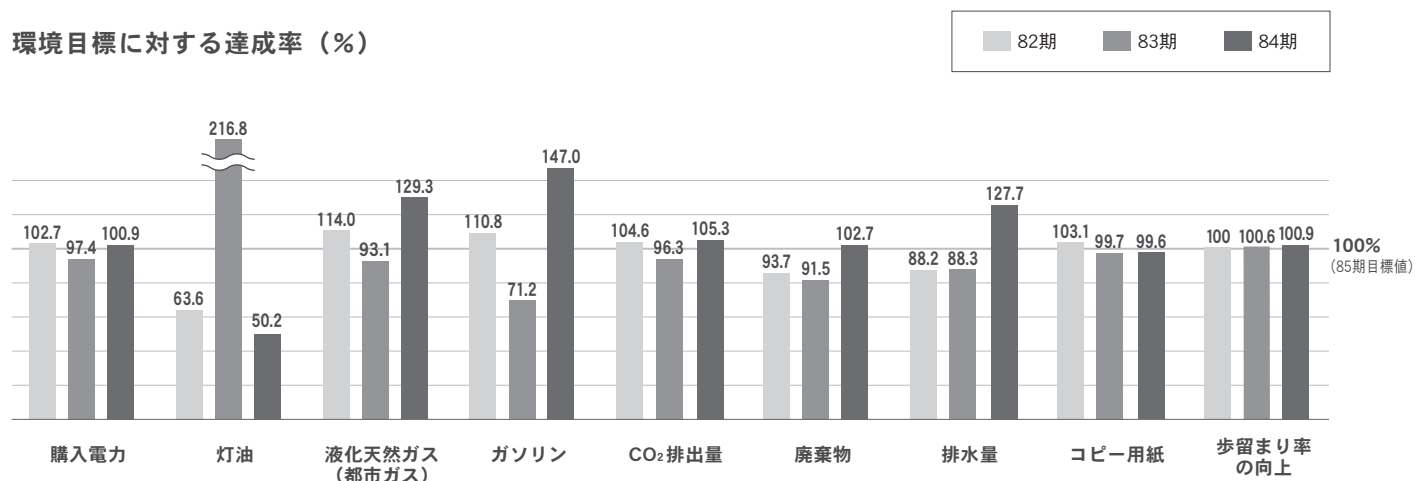
環境目標とその実績（3年間の推移と目標値）

項目	単位	82期	83期	84期			85期	86期	87期	
		実績	実績	目標	実績	達成率	目標	目標	目標	
CO ₂ の削減	購入電力	kwh	1,168,009	1,186,723	1,174,856	1,163,289	100.9%	1,151,656	1,140,140	1,128,738
	灯油	ℓ	311	142	140	279	50.2%	276	273	271
	液化天然ガス(都市ガス)	m ³	44,087	46,904	46,435	35,927	129.3%	35,568	35,212	34,860
	ガソリン	ℓ	3,926	5,462	5,408	3,678	147.0%	3,641	3,604	3,568
	CO ₂ 排出量	kg	738,288	758,784	751,196	713,196	105.3%	706,064	699,003	692,013
廃棄物	t	59.5	64.4	64.0	62.3	102.7%	61.7	61.1	60.0	
排水量	m ³	2,831	3,173	3,141	2,459	127.7%	2,434	2,410	2,386	
コピー用紙	kg	8,035	7,978	7,899	7,930	99.6%	7,850	7,772	7,694	
歩留まり率の向上	%	99.06%	98.94%	99.5%	98.52%	100.9%	99.5%	99.5%	99.5%	

購入電力のCO₂の排出係数は0.522とする

歩留まり率の向上とは原紙をコンピューターの仕入れ指示より0.5%少なく仕込むことを目標にしています

環境目標に対する達成率（%）



環境に対する取り組みについて84期の総括

84期は生産設備を増やしましたが、購入電力は前年対比 98.03%に削減できました。主な要因は、前年度より計画したエネルギー効率が高い空調設備への入替によるものです。6月に全館の70%に相当する空調設備(ガスヒートポンプ)の新規設備への交換と設置場所の変更を行いました。ピーク時には電気エアコンも併用しましたが、交換後3ヶ月の実績では、電気に加えてガス使用量も前年対比 76.6%と大幅に削減できました。

85期は、増設した設備の稼働を充実させるためコンプレッサーを増設します。それに伴いポンプ室の改装が必要となり、吸排気用換気扇の増設などを計画しています。

歩留まり率の向上については、目標であるコンピューター仕込み率に対し 98.52%と仕込み数を1.48%削減できました。1件あたりの平均受注数が年々減少しオーダーの小口化が進んでいますが、材料を大切に扱いロス削減に取り組めます。

✉ 社外・社内への開示

当社の環境・品質に関する取り組みをより理解していただくために、社外・社内では以下のような開示をしています。

社外への開示

Webサイトや会社案内では当社が取り組んでいるISO9001、エコアクション21、森林認証など環境・品質に関する事項をロゴマークで表示しております。また、詳しい取り組みに関してはサイト内のお知らせページ・SNSにて随時ご紹介しています。

お客様を招いての工場見学では、工場内の視察だけでなく当社が環境や品質においてどのような取り組みや管理をしているかについて、説明の時間を設けています。

社内への開示

社内のグループウェアによる日報では、品質・環境事務局よりどのような活動を行っているかについて随時情報を共有しています。また、日報上で他部署の社員同士が質疑応答することも可能で、迅速に対応できるようになっています。

地域社会とのつながり

✉ 職業体験の受け入れ

約20年前より子どもたちの職業体験を受け入れており、中学生を対象にした教育プログラムの一環として職業体験を行っています。

84期の受け入れは以下の通りです。

- ・2018年11月1日～2日 松原市立松原第六中学校(2名)
- ・2018年12月7日 堺市立八下中学校(2名)
- ・2019年6月6日～7日 堺市立南八下中学校(2名)

生徒たちは、主に封筒の袋入れ作業や封筒型抜き補助作業を担当しました。このような体験は子どもたちに働く現場の大切さや仕事に関する考え方などを教える良い機会になると、学校関係者の方々より評価をいただいております。今後も受け入れ校を増やす予定です。



✉ 市民活動の活性化「さかいNPO協働大賞」選考委員

堺市における市民活動の活性化を目指し創設された「さかいNPO協働大賞」の選考委員を、当社代表の杉浦が務めさせていただきました。これは堺市市民協働課による取り組みで、市民活動団体や企業、大学、行政などが連携・協働しながら、堺市のさらなる活性化を目指しています。

✉ 堺商工会議所「堺ブランド 堺技衆」に認証

2019年4月、優れた製品・サービスや技術力を持ち、地域の発展に貢献する中小企業を認証する「堺技衆(さかいわざしゅう)」に、弊社を認証いただきました。認証企業は計94社となっています。



✉ 「フェニーチェ堺」オフィシャルパートナー

2019年秋にオープンした芸術文化の創造・交流・発信の拠点施設、堺市民芸術文化ホール「フェニーチェ堺」のオフィシャルパートナー企業となりました。

✉ 敷地内の緑化活動を推進

堺市の条例に従い、本社工場内の18%の緑化を達成しました(堺市条例では15%以上の緑化を推奨)。敷地では季節ごとに、ウメ・サクラ・モモ・キンモクセイ・モクレンなど多くの植物を観賞することができます。社員の憩いの場としても好評です。



お取引先とのつながり

100周年記念サイト

創業100周年の記念サイトは、84期の一年間に渡ってコンテンツを追加し、お客様にご覧いただきました。45名のアーティストによる100周年お祝いイラスト「ILLUSTRATION」、取引先様からのメッセージを紹介した「PEOPLE」、羽車の歴史や工場現場の様子など様々な角度から羽車を紹介した「STORY」などのコンテンツを幅広いお客様に楽しんでいただけるサイトとなっています。



工場見学「ファクトリーツアー」開催

本社工場では国内外のお客様に向けた工場見学「FACTORY TOUR(ファクトリーツアー)」を定期的に行っています。年に一度お客様をご案内する工場見学会は今年で6回となり、11月24日に開催しました。テーマは「一緒に研究・体験する」として、午前と午後の二部制で総勢48名の方にご参加いただきました。好きな紙を選んでノートを作成したり、見本の色に合わせてインクを調肉する(色を混ぜて作る)体験などを実施。商品が仕上がる過程やものづくりの楽しさを感じていただきました。お客様と直接お話することができ、スタッフにも貴重な体験となりました。今後も形式を変えながら行っていく予定です。



出張ショールーム 開催

より多くの方に商品をご覧いただけるよう、10月と2月に大阪市内にて、1日限定の出張ショールームを開催いたしました。ハグルマストアを担当するスタッフが印刷加工の相談も承りました。ハグルマストアのほぼ全ての商品やサンプルを手にてできる出張ショールームは大変好評のため、お客さまとの貴重な交流の場として、今後も開催する予定です。



紙と加工の研究／制作例(デザインギャラリー)

企画部や製造部では、新しい加工技術の研究を進めています。検討中のサービスを研究するページ「紙と加工の研究」では、お客様にモニターとしてデザインを提供していただき、試作したものをウェブサイトにてご案内しています。(2019年9月現在 第20回)

また、お客様にご協力いただき、実際のご注文作品を紹介する「制作例(デザインギャラリー)」は月20件以上のペースで更新しています。制作例は、加工を検討中のお客様に大変好評です。(掲載にはお客様の許可をいただいています)



社員ワークライフバランス・ダイバーシティ

社員が持ち合わせるスキルとして「知識・技術」+「人間力」+「センス」が大切だと考えます。これをもとに、育成プログラムを実施しています。

✉ 働き方の多様化への対応

能力・スキルを持った社員が、家事や出産育児、介護などの様々な制約がある中で、長く働くことができるような支援、制度の構築にチャレンジしています。

働き方の選択制度

短時間勤務が選択できる他、通常勤務復帰後も短時間勤務の再取得が可能です。社員のライフスタイルに合わせて約20パターンの勤務体制を実施しています(2019年9月現在)。現在の育児休業取得者は3名、子育て中の短時間勤務者は1名となりました。更新は毎年3月で、子どもの成長と託児施設などの条件により決定しています。

✉ 個性や価値観を尊重した職場作りを推進する制度

羽車では、全ての社員にとって長く働きやすい環境づくりを目的とした制度を推進しています。

定年再雇用制度

メーカー企業として、熟練したスキルを持つ社員は大切な存在です。

定年後、継続して雇用を希望する場合は定年再雇用制度を利用することができます。現在、10名の社員がこの制度を利用して働いています。84期新しく取り入れた内容は、定年退職までの仕事を継続する再雇用でしたが、今年より長期に渡って働きやすい環境を目指して、新しい仕事へのチャレンジも可能にしました。

✉ 外部研修

社員が持ち合わせるスキルとして各部署にて必要なスキル向上を目的とした外部での研修を推奨しています。

各部署にて資格支援補助制度をテスト導入しました。スキルの向上を目的とした外部での研修及び検定を支援補助と推奨しています。

検定実績：色彩検定 2級=6名 3級=11名 / 断裁機安全講習検定1級=1名 /

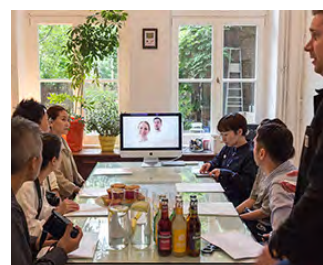
品質管理検定 2級=1名 3級=10名 4級=9名

研修例： 製造に関する特殊技術の研修(4年連続)、経理システムセミナー、労働安全セミナーなど

✉ 海外研修

84期はヨーロッパとベトナムの二か所で海外研修を行いました。2019年7月のヨーロッパ研修では「これからのデザインとブランディング」をテーマに企画部中心のメンバー6名が参加。8月に実施したベトナム研修では製造部を中心に、「自身の成長とチームワーク」のテーマで6名が参加しました。

ベトナム研修では、紙漉きや刺繍で有名な民族の村を訪れ、実際に作業をしている方々との交流ができました。また、普段はあまり接点がない社員同士の参加でしたが、研修を終えて全員がチームワークを実感できたことはかけがえのない体験となりました。



✉ クラブ活動

社内では、有志スタッフによるクラブ活動が行われています。

ゴルフ部では、年2回のゴルフコンペにて日ごろの練習の成果を発揮しています。コンペの集合は朝7時にゴルフ場、一旦帰宅後に終電までの反省会を行うのが恒例で、充実した1日イベントです。

アート部では、9月に貸切バスで大塚国際美術館（徳島県鳴門市）を訪れました。ここは名画を陶板で複製した「陶板名画美術館」です。参加メンバーからの作品紹介も素晴らしく、西洋絵画の奥深さを知り、初参加の社員は驚いたようです。19名が参加し「アートとユーモアを愛する人」が順調に増えております。

ガーデニング部では、花の植え替え（約3ヶ月に1回）に加え、土の入れ替えを行い園芸スペースを広げました。その場所で果実の栽培にチャレンジし、メロンとキウイは収穫・試食を楽しめました。ハロウィン用のかぼちゃは、残念ながら種まき後の豪雨で発芽しませんでした。来年再挑戦します。



✉ 有給休暇と残業について

2018年4月1日～2019年3月31日までの有給休暇取得率は、83.95%でした。85期も夏季・年末年始に有給休暇の計画的付与を実施し、有給休暇取得率90%を達成できるよう、休暇の取りやすい環境を目指します。

84期の残業に関しては、1ヵ月平均19.70時間／人となり、83期より少し増加しました。特定部署の担当者や管理者に負担が集中しないよう、心地よいチームワーク体制を整え、平準化を行います。また85期においては、人事異動や設備投資などにより、残業時間の縮小を目指します。



2019年 年賀状 撮影風景

✉ 社員インタビュー



製造部 第一生産課
河合 (かわい)

私の主な業務は封筒の検品と箱詰め作業です。この業務では、正確で迅速な検品ができるスキルが求められます。

入社して2年目ですが、小さなものから大きなものまで主に5サイズの封筒を担当しています。一度に100枚単位で箱詰めするのですが、サイズが違うだけで、封筒の持ち方

やまとめ方など一連の動作が違ってくるので、最初は慣れるのに苦労しました。また、日によって同じサイズを終日担当したり、一日で2、3種類を次々に担当したりと、臨機応変に作業することも必要です。現在は作業スピードが早くなり、見落としのミスも少なくなってきたと周りから評価され、嬉しく思います。

作業中に気づくちょっとした楽しみは、紙の種類で100枚の束の手触りが変わってくるところです。紙によって感触が様々で、特にコットンの紙は手に持った時の感触が一番柔らかくてお気に入りです。

これからの目標は、私の担当の作業前に行う「機械の型替え業務」もできるようになることです。これをマスターすれば、一連の作業を一人で行うことができます。

具体的な計画はありませんが、いつか品質検定などの資格取得も目標にしたいです。社内のクラブ活動にも興味があります。掲示板に貼り出される各クラブの募集や報告を楽しく読んでいます。羽車のスタッフはどの部署もとても話しやすい方々が多いので、機会を見てクラブ活動に参加し、他部署との交流がさらにできたらいいなと思っています。



本社営業部 マネージャー
大槻 (おおつき)

本社営業部の得意先は、紙の卸商社、印刷会社、一般企業などで、私は主に地方の卸商社や印刷会社を担当しています。入社後、主に営業を担当し今年で39年目になります。最近は、地方の取引先への訪問は少なくなりましたが、数年お会いしていないお客様からも定期的に電話やFAXでご連絡をいただくので、先方との距離は近いと感じています。

ありがたいことに、お客様からは気軽にお電話をいただいています。「こんな封筒は作れますか?」とのご質問に、時には弊社でできない仕様もあり、その際は他社をご紹介することもあります。またお客様とざっくばらんな雑談をすることもあるのですが、その時は受注に繋がらなくても、後日新たなご注文をいただけることも多いのです。

羽車に長らく勤務していますが、昔と比べてさらに働きやすい環境になり、他部署間の垣根が取れたと実感しています。チームワークの良さもこの会社の魅力であると感じます。

これからは、若手スタッフにお客様の引き継ぎを徐々に行っていきます。そのようなお客様とは阿吽(あうん)の呼吸でやり取りができる仲なので、課員には「大槻ではなくても羽車のスタッフなら信頼できる」と慕っていただける関係になってもらいたいですね。

✉ 契約デザイナー

羽車では、定期的に海外のデザイナーとコラボレーション企画を実施しています。

羽車を知ったきっかけは、そこで働いている企画スタッフからの紹介でした。それ以来、羽車という会社を少し内部から知ることができて、嬉しく思っています。私は主に、名刺や招待状用のイラストを作成しています。

羽車の製品は、商品だけでなくその作り方の背景にも魅力を感じます。特に活版印刷の製品が印象的で好きです。また、職人技の加工や紙、印刷の品質、これら全てが羽車の製品をユニークにします。

私は、羽車ファミリーの一員になれたことを嬉しく思います。羽車は100人以上もの人が働いているにも拘らず会社と社員との関係性がとても近く、居心地が良くフレンドリーな印象です。企画スタッフは非常に協力的で、アイデアに対して寛大です。羽車は常にアーティストとその作品を尊重しているので、イラストレーターとして作品を創り出しやすい最適な環境です。



リナ・ラーク
ポーランド出身
イラストレーター/デザイナー

文化的社会貢献

✉ 海外とのつながり

羽車が提供する商品・サービスについて、よりグローバルな価値を生み出すために、私たちは海外とのつながりを大切にしています。

外国人デザイナーとのコラボレーション

定期的に海外のデザイナーにご協力いただき、商品開発やサンプル作成を行っております。84期には、シンガポール、ウクライナ、フランス、イギリス、ポルトガルなどのデザイナーとのコラボレーションが実現しました。



海外企業との交流

2019年9月にマレーシアのレタープレス工房、the alphabet press様が来社され、工場見学や両国の活版印刷事情について意見交換を行いました。デザインに関わる部署のスタッフが参加した座談会では印刷に関する技術やソーシャルメディアの活用方法、環境への配慮など多岐にわたりました。



✉ 国内での活動

みつばちプログラム

廃番となった商品を地域の保育園や幼稚園などの教育機関へ無償提供し、リユースいただく「みつばちプログラム」を行っております。84期は堺市の12か所の教育機関がこのプログラムにご賛同、ご活用くださいました。



多摩美術大学への協賛

多摩美術大学グラフィックデザイン学科様の卒業制作展の一環として作成される作品集に広告を協賛しています。



羽車郵便ポスト

手紙のよさを身近に感じる活動として、羽車では羽車郵便というサービスがあります。社員は毎月3通まで切手を貼らずに羽車ポストに手紙を投函することができます。

チャリティーピンキーリング

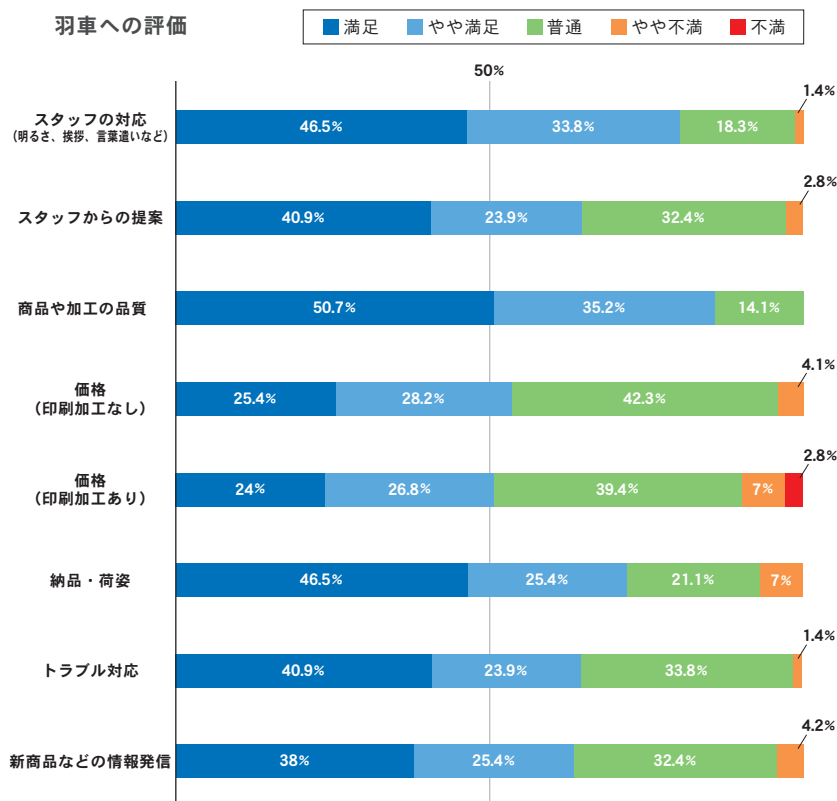
国際協力NGOジョイセフ(財団法人 家族計画協力財団)での取り組み、「チャリティーピンキーリング」用のカードを作製・協賛しています。



顧客満足度調査

アンケート

日頃当社をご利用いただいているお客様を対象に、サービス・品質向上を目的としたアンケートを定期的を実施しております。今期は71件のご回答をいただきました。結果は以下の通りです。



◆アンケート結果について

今回も昨年同様、弊社の対応について5段階の評価をお願いしました。

全項目について「満足」が前年よりプラスになる評価をいただきました。特に「スタッフからの提案」については、+12%となりました。今後とも、お客様のご要望を丁寧に向いながら、よりわかりやすいご提案を続けてまいります。

一方で、「価格(印刷加工あり)」「納品・荷姿」「新商品などの情報発信」については、やや不満～不満の評価が増加してしまいました。また具体的に「新商品情報を定期的に知らせてほしい」「短納期に対応してほしい」などのご要望もいただきました。ご指摘いただいた点を少しでも軽減できるよう、早急に改善に努めてまいります。

編集後記

この度は、私たち羽車の活動報告書をお読みいただき、誠にありがとうございました。

84期は、4月に羽車のECサイトをリニューアルし「HAGURUMA STORE」として新たにご案内を始めました。より直感的にわかりやすく商品をご覧いただくことができ、新規にサイトを訪問くださるお客様も増えました。今後とも、お客様が安心してご購入いただけるよう新たなご提案を進めてまいります。

お客様とのつながりとしては、SNS「Instagram」にて3回のキャンペーンを実施しました。羽車をご存知ない方や海外のお客様からもメッセージをいただき、SNSならではの新しい関係性を築くことにつながりました。

来期には、新しいオウンドメディア、ビジネスと紙の参考書「HUG LETTER(ハグレター)」が始まります。ビジネスやブランディングに羽車の紙製品をどう活用いただいているのか、インタビュー記事をご案内予定です。ご一読くださいましたら幸いです。

今後とも株式会社 羽車は社員一同、地域社会に貢献し、持続可能な環境への配慮をしつつ、お客様とともに良いものを作るべく邁進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

本報告書作成にあたり、たくさんの方々にご協力をいただきました。

この場をお借りしてお礼を申し上げます。

株式会社 羽車 企画広報部 永田 留美 柳 朋美

お問い合わせ先

株式会社 羽車 企画広報部

TEL 03-6432-9880 FAX 03-6432-9878 E-mail pr@haguruma.co.jp